

## 当院における全人工膝関節形成術後のスポーツ実態調査

中谷 拓也<sup>1)</sup>

湯朝 友基<sup>2)</sup> 張 敬範<sup>2)</sup> 江本 玄<sup>2)</sup>

1)江本ニーアンドスポーツクリニック リハビリテーション部

2)江本ニーアンドスポーツクリニック 整形外科

### 【目的】

全人工膝関節形成術(以下TKA)後に健康維持や生活の質向上を目的としたスポーツ活動を継続する者も少なからず存在する。今回、TKA後のスポーツ種目、頻度、満足度を調査した。

### 【方法】

2006年5月から2012年9月までに当院にてTKAを施行し、調査可能であった945例1154膝を対象とした。

その内、スポーツ活動を行っている267例330膝(28.3%)にアンケートを郵送し、調査を実施した。

(内訳)男性:57例、女性:210例。手術時平均年齢:73.1歳(52~88歳)。

TKA Type CR型:286例、PS型:34例、mobile型:10例。

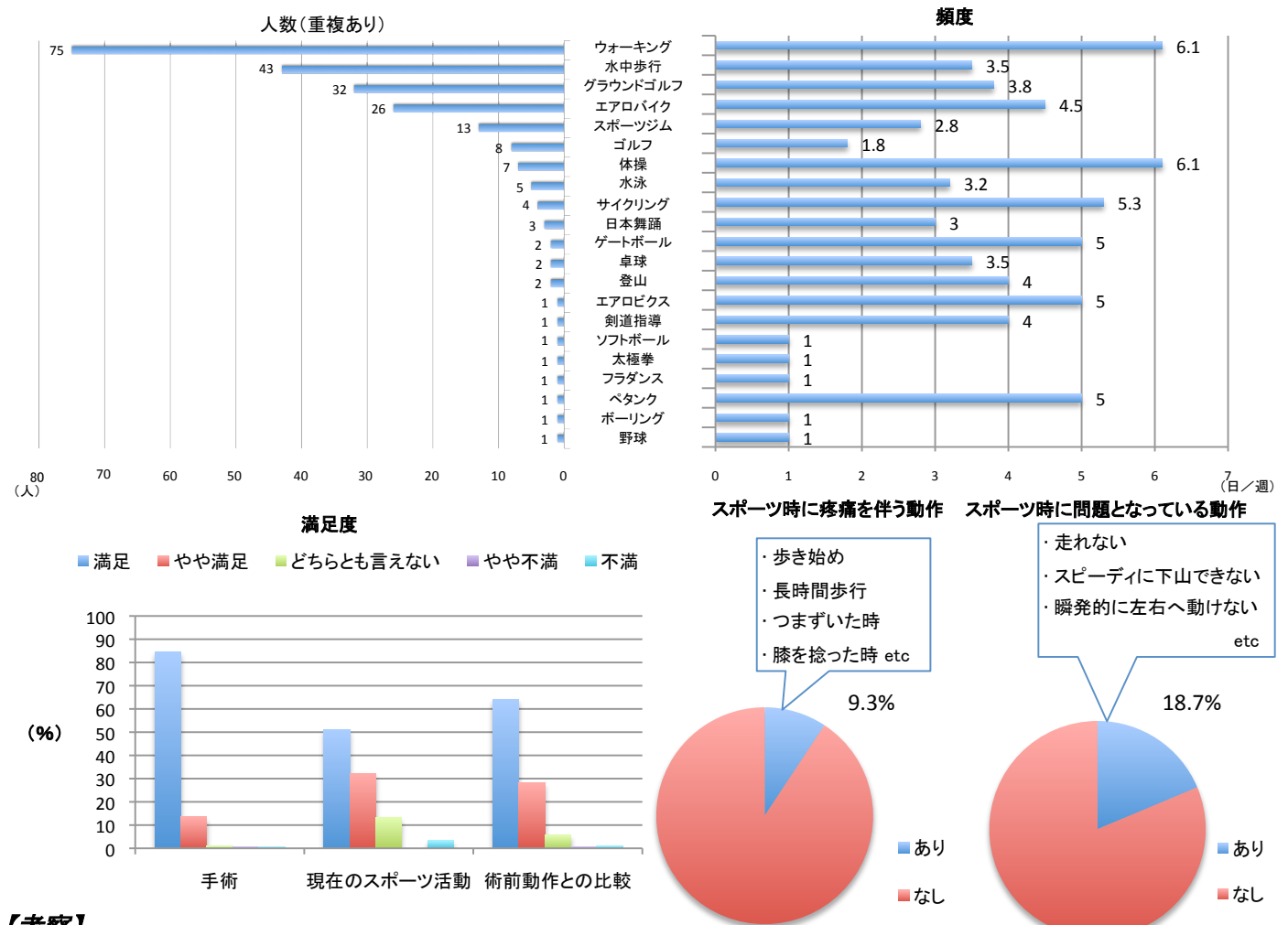
### ～アンケート調査項目～

スポーツ種目、頻度、手術満足度、現在のスポーツ活動満足度、術前動作と比較した満足度、スポーツ時に疼痛を伴う動作、スポーツ時に問題となっている動作。

※抄録の結果は各々最終診察時地点。

### 【結果】

アンケート返答率 68.7%



### 【考察】

スポーツ種目は、大半がlow-impact競技であったが、中には野球やソフトボール、剣道などのhigh-impact競技もあり、様々な合併症の発生に注意が必要であると考えられる。

また主治医は、high-impact競技やHealyらが述べている推奨していないスポーツに関して勧めていない。

(Healy WL, et al : Athletic activity after total joint arthroplasty . J Bone Joint Surg, 90-A : 2245-2252, 2008.)

しかし、極少数ではあるがhigh-impact競技への参加もみられるため、今後も慎重な経過観察や啓蒙が重要である。

### 【結論】

- 全人工膝関節形成術後、スポーツ活動を継続していた者が全体の28.3%存在した。
- 今後もインプラントの緩みや破損、骨折などの合併症に対する啓蒙が必要と考える。

